



校長だより

日中丸



第22号
H29. 11. 17

日間賀中学校長
鈴木 康弘

進路説明会 11.14(火)

3年生の生徒・保護者および1・2年生保護者の希望者を対象に、進路説明会を開催しました。数か月後に控えた受験にむけて、進路選択や今後のスケジュールなどについて親子で学ぶ機会となりました。また、全体の説明後、模擬面接も行いました。3年生は、いよいよ中学校卒業後の進路を決定する時期となってきました。すべての生徒が自分将来のことを真剣に考え、保護者の皆様および担任としっかり相談し、それぞれの夢の実現に向けて努力して欲しいと思います。



2年生高校訪問 11.14(火)

2年生が高校訪問を行いました。名古屋市内の私立学校・専修学校と、半田市内の専門学科の公立高校を訪問し、見学してきました。各学校・学科の特色をふまえて、名古屋市内と半田市内からそれぞれ1校ずつを選び、いくつかの班に分かれて訪問しました。事前に立てた訪問計画に従って訪問することができました。中学校卒業後の進路先と将来の自分の姿を考えるよい機会となりました。



笠島先生研究授業 11.16(木)

11月16日(木)に、1Aで笠島先生が国語の研究授業を行いました。焼き芋の魅力伝える文章を書く学習です。焼き芋の魅力を実感するために、授業の初めに、実際に焼き芋を1口食べました。「おいしい」「甘い」などの感想を基に、文章を書き始めました。前の時間までに集めた言葉を参考に、より詳しく伝えるために工夫をしていました。本物を準備し、食べたことで、学習への意欲が高まりました。



朝会より 11.13(月)

前期生徒会役員との退任式と後期生徒会役員・級長の任命を行いました。前期生徒会役員へ感謝状を贈呈した後は、代表して前期生徒会長が退任のあいさつをしました。また、後期生徒会役員・級長の任命の後には、代表して後期生徒会長が意気込みを語りました。それぞれの想いが込められたあいさつでした。後期の生徒会活動に期待したいと思います。



僕はこの学校をもっといい学校にしたいと思っています。だから、僕は自分の公約である「楽しい学校にすること」を毎日忘れずに、どんな些細なことでも公約を実現できるようにしたいです。

一緒にこの学校をよりよくしていきたいと思うので、応援よろしくお願いします。

僕たち前期生徒会役員は、学校をよりよくするためにがんばってきました。生徒議会などで他の委員会にも協力してもらい、たくさんの改善点ももらってよい方向に進んだなと思います。生徒会長になってたくさんの仕事がありました。生徒会活動を通して人前で堂々と話せるようになったので、よい経験になったと思います。

半年間、ありがとうございました。



生徒発表（11月のテーマ：私が薦める本について）

岡田葉奈さん（1年）

私が薦める本は、「サクラ咲く」です。この本には3つのお話が入っています。私は、3つのお話の中でも、「サクラ咲く」が好きです。地味な女の子が、不登校の女の子が書いた1枚の便せんを通して出会い、仲間とともに女の子を救うストーリーです。最初は、本の題名である「サクラ咲く」の意味がまったくわかりませんでした。しかし、本を読んでいくにつれて、だんだんわかってきました。

この本は、3つのストーリーがすべて重なります。1話目が「約束の場所 約束の時間」、2話目が「サクラ咲く」、3話目が「世界で一番美しい宝石」です。どの話もおもしろく、ページをめくる指が止まりませんでした。この本は、中学校の図書室にあります。私が中学生になって初めて借りた本で、印象に残ったので薦めたいと思いました。

鈴木貫太さん（3年）

私が薦める本は、「手紙屋」という本です。この本は、2年生のころに松久先生に貸してもらい、今でも読んでいます。読書タイムの時に、少しずつ読み進めています。読み終えてみると、勉強を少しやりたくなる本だなと感じました。それは、主人公の少年と手紙屋とのやりとりが勉強したいなという気持ちにさせてくれるからです。

僕は本を読むことがとても苦手ですが、この本はおもしろく、自分でも読みたいなと思える本です。読んでみたい方は、松久先生に借りてみてください。松久先生はその本を読めば変わるよと言っていたので、ぜひ借りて、新しい自分を見つけてみてください。僕も、この「手紙屋」という本を読んで、受験勉強に力を入れていこうと思いました。これからも、勉強もがんばっていきます。

校長の話

こんな話をしました。

先ほど、前期生徒会役員へ感謝状を、そして、後期生徒会役員と後期級長へは任命状を渡しました。前期生徒会役員は、先週行われた日中祭にむけて、本当にがんばってくれました。オープニングの動画はその証だだと思います。あの動画から始まったからこそ、日中祭当日が笑い声と笑顔であふれる一日になったのだと思います。また、全員の「やる気」も引き出してくれたのだと思います。みんなの「やる気」を見たある保護者から、エンディングセレモニーが終わった後に、「本当に感動した。中学生に戻って、あんな学校祭をやってみたい。」というお話をいただきました。笑いあり、感動ありのすてきな一日でした。

さて、後期生徒会役員と後期級長は、それぞれの立場を引き継ぐ形となります。返事の大きさやしっかり前を向いて任免状を受け取る眼差しから、後期も大丈夫だと感じました。日中の輝かしい歴史をつくってくれるものと思います。大いに期待しています。

生徒会役員と級長を中心に、「やるべきことはやる やった方がいいこともやる やっちゃいかんことはやらない やらん方がいいと思うこともやらない」、さらには、「先大見笑」を意識して、これまで以上にすばらしい学校を、ここにいるみんなで作っていきましょう。日中生の「やる気」に期待しています。